

笑顔が生まれる瞬間パシャリ!

Smile Album ☺

● 9:00 登園



● 10:30 外遊び

近くの広々とした公園で、追いかっこやブランコ、すべり台などを楽しむ吏都くん。公園の隣にあるグループホームのお年寄りとも、交流を深めています。

● 11:30 お弁当



ママの作ってくれたお弁当をいただきます。フォークも上手に使えたね!

● 12:30 お昼寝



● 14:30 室内遊び・帰りの会



● 16:30前後 帰宅

※上記スケジュールは吏都くんの場合、お子さんによって異なります。

笑顔はくぐむ保育日誌

子どもたち一人ひとりに関われる密度の高い保育ができています

家庭保育室の一番のメリットは一人ひとりに目が届くこと。保育室のスペースなどは制限がありますが、我が子を育てるようにきめ細かな対応ができます。未っ子の吏都くんですが、ここでは小さい赤ちゃんを妹のように可愛がり、立派なお兄さんとして成長しています。



ニチイキッズ吉津 家庭保育室 施設長(保育士) 溝口 敦子

ニチイキッズ吉津 家庭保育室 (名古屋市中川区)

ニチイ学館が2012年8月から名古屋より業務委託。市営住宅をリフォームし、防音効果のある壁材や二重サッシを採用。運動会やイベントでは自治会のスペースを借りるなど、地域との交流も盛んになってきている。

■開園日 月曜日～土曜日 (7:30～18:30)
■定員 10名 ■対象 0～3歳未満児



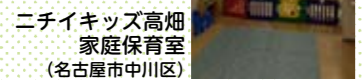
お友達や先生と一緒に。まるで家族のような緊密な空気が、保育室に流れていました。

歌や手遊びなど、先生と一緒に楽しく遊ぶ時間。押し入れの下も遊びスペースとして使うなど、リフォームにも工夫がいっぱい。

ニチイが運営するその他の家庭保育室



ニチイキッズ浄心 家庭保育室 (名古屋市中区)



ニチイキッズ高畑 家庭保育室 (名古屋市中川区)



ニチイキッズ川名 家庭保育室 (名古屋市中区)

■開園日 月曜日～土曜日 (7:30～18:30)
■定員 各15名 ■対象 0～3歳未満児

名古屋子ども青少年局保育部保育企画室の方にお聞きしました
認可保育所を補完する制度として柔軟に対応できる「家庭保育室」
 —今年4月に待機児童が減少した自治体全国1位として名古屋市の取り上げられていました。どのような取り組みをされたのでしょうか。
 「昨年度(平成24年度)は補正予算を計上し、賃貸物件を活用した保育所やグループ実施工型家庭保育室の積極的な拡充により、1年間で3歳未満児の入所枠1,584人分を拡大しました。また、保護者のニーズに即したきめ細かな対応を専門的に行う嘱託職員「保育室内人」を待機児童の多い8区に配置しました。
 その結果、待機児童数は平成25年4月には対前年比で約73%減の280人となっています」

「家庭保育室についてはどのようにお考えでしょうか。
 「保育所の新設と比較して、小規模の物件を活用することができると、これまで保育所を新設できなかった地域においても、設置が可能になりました。開設までの準備期間が短く、スピード感を持った対策が役割だと考えます。
 市内にはグループ実施工型家庭保育室が33件あり、そのうち24件は株式会社運営しています。各運営主体には、経験を十分活用していただき、積極的に参加してほしいと考えています」

「第2の家のような感覚で、のびのびと通っています。もっと家庭保育室が増えたらいいですね」



いきいき 子育てライフ



安井 未奈さん 吏都くん(2歳)

「少人数ならではの あたたかさ と家庭的な 雰囲気 が気に入っています」

名古屋市では、待機児童解消に向けた取り組みのひとつとして、小規模物件を活用した「家庭保育室」を推進しています。「ニチイキッズ吉津 家庭保育室」では、市営住宅を改装して10人の子どもたちをお預かりしています。

行き届いた先生の気配りでまるで「第2の家」のように

待機児童が多く、入園先がなかなか見つからなかったという安井未奈さん。区の相談窓口で家庭保育室を紹介され、説明会に参加したのは昨年の8月でした。

「市営住宅の一室ということですが、どんな環境なのか想像ができなかったのですが、行ってみたら綺麗にリフォームされていてすごく好感を持ちました。広々として明るい印象でした。すぐに入園を決めました」
 定員は10名。5人の保育士がいるので、対応がきめ細かなところも魅力だといいます。

「登園したとき、かすり傷や虫刺されなど、わずかな変化にも気づいてくださいますし、園での様子もこと細かに教えてもらえるので、とにかく安心ですね。お休みのときの仕事を、後日吏都のためにしてもらったこともありました」

住宅をリフォームして利用していることもあり、子どもたちにとっては自宅の延長のような安心感もあるようです。

「第2の家のような感覚で、のびのびと通っています。もっと家庭保育室が増えたらいいですね」